

- 美と野心の化身・藤尾
  - 
    藤尾（中心人物）
    - 知性と美貌を武器
    - 周囲を巧みに操る
    - 単なる悪女ではない
  - 自己実現を求める女性の姿
    - 明治期の家父長制社会
    - 財産継承を巡る家族関係の複雑さ
- 理想と現実の葛藤
  - 
    小野（文学者）
    - 小夜子との婚約、藤尾への恋に苦悩
    - 道徳的な価値観 VS 個人の欲望
  - 
    宗近（藤尾の婚約者）
    - 外交官試験に向けて努力
    - 小野を強く叱責する率直さ
  - 近代化する日本社会
    - 知識人の選択と苦悩を描く
- 商業作家としての転換点
  - 漱石
    - それまで教師として生計
    - 商業作家として本作でデビュー
  - 本作での描写
    - 知識人の苦悩や女性の自己実現
    - 後の漱石作品で重要なモチーフに